異常気象時の児童の安全確保について

基本的な考え方	**異常気象時は、安全を最優先に、無理に下校させず、学校に待機させ、安全を確保することを基本とします**

1　末広小学校の地域特性を踏まえて

本校は駅に近い地域にあり、集中豪雨時には道路の冠水や交通の混乱が起こりやすい地域です。また、学校周辺は住宅や事業所等が近接しているため、異常気象時に多くの保護者の方が自家用車で一斉に迎えに来ることは、周辺道路の混雑や安全面、近隣住民の方への影響などから、現実的に難しい状況があります。さらに、交通麻痺等によって、保護者の方が「迎えに行きたくても学校まで来られない」ことも想定されます。

そのため、異常気象時に一律に早い時刻で下校させたり、保護者の皆様に一斉に車でのお迎えをお願いしたりすることが、必ずしも児童の安全につながるとは限りません。

2　「学校待機」を基本とします

大雨・洪水・暴風等により下校時の安全確保が難しいと判断した場合は、原則として学校で待機させます。

① **無理に下校させません**　雨が強い、道路の冠水が予想される、雷・強風等により安全な下校が難しい場合は、児童を学校で待機させます。

② **保護者のお迎えを一律には求めません**　駅前の交通混雑や道路状況等により、保護者の方が安全に学校まで来られないことも想定しています。学校待機を基本としつつ、必要な場合には混雑を避けるため、分団ごとにお迎えの時間を指定するなどの案内をして対応します。

③ **天候の回復後、教員が引率して下校します**　天候や道路状況、学校周辺の安全、下校に要する時間等を総合的に判断し、安全に下校できる状況になった場合に下校します。その際は、児童だけで下校させることはせず、必ず教員が引率し、安全を確認しながら下校します。日没までに下校が難しい場合はお迎えをお願いいたします。

3　保護者の皆様にお願いしたいこと

- 学校からの連絡を確認できるよう、緊急時には Tetoru 等の連絡を意識してご確認ください。
- 学校待機となった場合、保護者の方がすぐに迎えに来られなくても慌てる必要はありません。学校で児童の安全を確保します。
- 緊急時には、勤務中などで連絡をすぐに確認できない場合があることも想定しています。ご家庭でも「非常時は学校で待つことがある」ことを、お子様とあらかじめ確認しておいてください。
- 必要に応じて、家庭での待機方法、児童クラブ・放課後等デイサービス等の利用についても、事前に確認しておいてください。

4　緊急時の連絡についても改善します

緊急時の連絡について、①重要な内容を冒頭に示す、②返信が必要かどうかを明確にする、③予定どおりに進まない場合は、その時点で可能な範囲で状況をお知らせする、など、より分かりやすく、安心につながる情報発信に努めます。

5　学校と家庭で、一緒に安全を守りましょう

異常気象は、予測を上回ることがあります。また、学校が地域全体の道路状況をリアルタイムに把握することには限界があります。だからこそ、学校だけで判断を完結させるのではなく、学校は「児童を安全な場所で待機させること」を基本とし、ご家庭には「緊急時にはすぐに迎えに行けない場合もあることを想定しておく」など、それぞれの立場から備えていただきたいと考えています。

学校	家庭	共通の目標
安全を最優先し、原則学校待機 安全確認後に下校	緊急時の連絡を確認 家庭での備えを確認	児童を危険な状況で 無理に移動させない

「早く帰る」ことよりも、「安全に帰ること」を大切にします。